

第7回 WFA フットボールカンファレンス 御礼

2025年2月2日に第7回 WFA フットボールカンファレンスを開催いたしました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今回のカンファレンスでも、「4種年代指導への示唆」というセッションを3年連続行いました。そして今回、4種の指導者の方に非常に多くご参加いただき、大変感謝しています。

午前の部は、WFA 技術委員会の TSG より、2024 年度 U12 選手権大会和歌山県大会 TSG 報告、U12 県トレセン活動の成果や課題を発表していただきました。もう一つは、国スポ近畿ブロック大会の TSG 報告、国スポ活動の成果や課題を少年男子、少年少女の監督を交え、参加者の皆様とディスカッションをおこなう場を設けました。

午後の部では、講師に U17 日本代表コーチの大畑 開氏をお迎えして、U16 日本代表の活動報告や育成年代で獲得するべき要素、特に「攻守における個人戦術の大切さ」を中心に講演していただきました。参加者の皆様からも様々なご意見が出て、まさに育成年代指導者が幅を持って選手に寄り添い、個をフォーカスする指導の大切さを考えさせられました。

和歌山県にはまだまだ課題も多くありますが、普及から育成・強化まで、未来ある子供たちが自ら考え、判断を選択できる選手を育成できるよう、今回のような研修会を資格取得後のスキルアップとしても行っていきたいと考えます。

改めて、今回ご参加いただいた皆様、また、大畑氏はじめ、発表提案していただいた WFA の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

(一社) 和歌山県サッカー協会 副会長/技術委員長 松尾 敏宏